

交通モード、事業者、行政区域等のあらゆる垣根を越え、**九州一体で広域的なMaaS「九州MaaS」**を導入（2024年夏頃～）。  
 将来的に、MaaSにより得られるモビリティデータの利活用や、デジタル領域での連携に限らず、乗継時間を考慮したダイヤ編成・乗継環境の整備等のフィジカル面での連携といった取り組みも推進し、持続可能な地域公共交通の実現や、観光分野等も含む移動の円滑化による地域経済の活性化を目指す。

## 事業主体

一般社団法人 九州MaaS協議会  
 （2024年4月設立予定）

## 実施区域

九州全域

## 実施予定時期

2024年夏頃～

## 事業の目標

### (1)九州MaaSの目的

公共交通が選ばれる環境を創出し、持続可能な地域公共交通の実現や観光分野等も含む移動の円滑化による地域経済の活性化を図る

→九州MaaSの基礎理念：「交通モード、事業者、行政区域等のあらゆる垣根を越えたボーダレス交通の実現」  
 「フィジカル面での連携の推進（乗継ぎ利便性向上のためのダイヤ編成、環境整備等）」  
 「共創による移動需要創出」「モビリティデータ利活用の推進」

### (2)評価指標

交通事業者参画数：60社局以上（2027年度末）、100社局以上（2029年度末） など

## 事業の内容

デジタル技術等を活用し、九州域内における多様な交通モード（鉄道・バス・航空・フェリー）や移動先観光施設等の利用について、以下のサービスを提供

- 経路・時刻検索、予約、料金支払い、イベント情報閲覧等を一連で提供するサービス
- 交通機関の利用者の利便を増進するサービス

【上記サービス提供のために実施する新モビリティサービス事業】

### ①公共交通の利用促進

- 事業者や県境の垣根を越え多様なモビリティサービスをボーダレスにつなげた最適な経路検索、決済サービスとの連携
- 事業者や事業分野の垣根を越えたデジタルチケットの造成・販売等 など

### ②情報発信

- 地域住民・国内外観光客へのサービスの周知 など

### ③MaaSデータの利活用

- データプラットフォームの構築及び蓄積されたデータ利活用機能の実装等 など

## 【九州MaaS事業の全体像】

